

にほん 日本のトイレ

みな
皆さんは、ウォシュレットを知っていますか。ウォシュレットは日本のトイ
レで、ボタンを押すとお尻を洗ってくれたり、便座が温かかったりするトイ
レのことです。

めいじ じ だい ようしき
明治時代に洋式トイレ（椅子みみたいなトイレ）が日本に来ました。その
とき にほんじん いえ せいかつ
時、日本人の家や生活スタイルにはまだ合いませんでした。洋式トイレが人
き になり始めたのは、だいに じ せ かい たい せん あと げすいどう せい び すす すいせん
気になり始めたのは、第二次世界大戦の後、下水道の整備が進み、水洗トイ
レが使いやすくなってからです。でも、その時はまだ「和式トイレ」の方が
にん き
人気でした。和式トイレは椅子みみたいに座るトイレじゃなくて、しゃがむト
イレです。

ねんだい
1970年代、トートーというトイレで有名な会社の人アメリカに出
ちよう い
張に行きました。その時、お尻に怪我や病気がある人のために、病院で使
われていたトイレを見て、「日本で人気になるに違いない！」と思いました。
それで、1980年にトートーからウォシュレットが発売されました。最初
すこ たか
は少し高かったですが、テレビのコマーシャルが大成功して、どんどん日本
ひろ
に広まっていきました。今は、安ければ2～3万円ぐらいで買えますが、い
まんえん い じよう
いウォシュレットなら25万円以上します。

にほん き
日本に来たら、ぜひウォシュレットを使ってみてください。